

自然体験活動による 子どもたちの健全育成および環境教育 ～高梁川源流長期自然体験キャンプ～

特定非営利活動法人 自然体験活動支援センター

【事業の目的】

山村での共同生活から地域の文化や林業体験や自然体験等を通じて、自然に対する興味を深め、その大事さを理解し、自然と人々とのかかわり方について考察を深めるとともに、自立性を身に付け、生きる力を育むことをねらいとしている。

【事業内容】

- ・期 間 令和2年8月2日（日）～8月8日（土）6泊7日
- ・場 所 新見市神郷油野三室「氷室森の学校」
- ・内 容 林業体験（林業の話・間伐作業）
川遊び、神郷町三室の歴史を学ぶ
竹細工（竹トンボ作り）、備前焼体験
三国山登山及び三県またぎ
農業体験、シャワートレッキング
キャンプ全体のふりかえり
- ・参加者 男子2名、女子6名



【感想・成果】

- ・林業体験では、間伐の意味（間引いて良い木を育てる・下草を生やして土砂の流出を防ぐ）を理解し、山の現状や山の大切さを学ぶことができた。
- ・農業体験では、作業の大変さを知ると共に、100kg収穫という達成感も味わえた。
- ・備前焼体験では、伝統工芸に触れ、創作の楽しさや粘土の貴重さを学ぶことができた。
- ・登山では、石や根など足場の悪い所を伝え合い、仲間同士で気遣いながら頑張り登頂し達成感を得た。
- ・生活面では、日を追うごとにしなければならぬことを考え、仲間と役割分担をしながら協力して過ごすことができた。



【振り返り】

- ・次のキャンプにも参加したいという感想が多く、よい事業になったと実感した。
- ・川遊びを事前に経験させてシャワートレッキングに臨んだので、安全に楽しく実施できた。
- ・備前焼では、講師の熱心な指導に応えようと、真剣に取り組む子どもたちの姿に成長が感じられた。
- ・林業体験では、林業の大変さやプロの仕事の技に触れることができ、子どもたちの頑張る心を養うことができた。

【今後の改善点】

今回は、新型コロナの影響があり参加人数が少なかったことで、人と人との関わりが希薄であり、人間関係のトレーニングが不十分であった。次年度は、広報を早めに行い、事前説明会を開き、キャンプの趣旨やプログラムの内容と共にコロナ対策について詳しく説明し理解して頂き、参加者を定員に満たせるよう努力したい。